

『遠野物語』を語る

語り・芸能・映像が織りなす遠野の世界

語り

竹本 千歳太夫

竹本 碩太夫

十三里遠野

文楽人形
吉田 簗紫郎

吉田 簗太郎

桐竹 勘吉

盆地を為す

水人間流



吉田 簗紫郎



竹本 千歳太夫



獅子
遠野郷板澤しし踊り保存会
(岩手県遠野市)



神楽
平倉神楽保存会
(岩手県遠野市)

映像制作 山田晋平
作調 藤舎呂英

柳田國男自筆『遠野物語』毛筆草稿 写真提供 遠野市立博物館

令和8年 3月8日(日) 開演13時(開場12時30分)

遠野市民センター大ホール

遠野市民センター自主事業

主催=独立行政法人日本芸術文化振興会、文化庁、遠野市、遠野市教育委員会

後援=遠野市芸術文化協会

主管・お問合せ=一般財団法人遠野市教育文化振興財団

TEL 0198-62-6191

全席指定 一般 4,000円 高校生以下 2,000円(当日各500円増)

●チケット発売開始 令和8年1月15日(木) 午前10時

●プレイガイド: 遠野市民センター、とびあ、みやもりホール、(一財) 遠野市教育文化振興財団

チケットぴあ(Pコード: 539-390)

[電話予約] (一財) 遠野市教育文化振興財団

0198-62-6191 (平日午前10時~午後5時)

Narrating the Legends of Tono - The World of Tono Interwoven with Storytelling,

Performing Arts, and Video in Tono Civic Center Large Hall

March 8 (Sun.), 2026, 1:00 p.m. - 3:30 p.m.

Booking opens on January 15 (Thu.), 2026

Phone number for ticket reservations:

0198-62-6191 (10:00 a.m. - 5:00 p.m. on weekdays)

日本橋 JAPAN CULTURAL EXPO 20

国立劇場

『遠野物語』を語る

—語り・芸能・映像が織りなす

遠野の世界—

『遠野物語』は、日本民俗学の父と称される柳田國男が、佐々木喜善から聞いた遠野の話をもとめ、明治四十三年（一九一〇）に刊行されました。ここに収められた内容は神話、伝説、妖怪譚、世間話、歌謡など多岐にわたり、柳田は佐々木の語りと遠野の伝承を格調高い文体で文学へと昇華させています。また、ここで語られているのは遠野の過去ではなく、当時の遠野の「現在」の物語で、序文にある「願わくはこれを語りて平地人を戦慄せしめよ」というよく知られている言葉は、遠野には伝承の豊かな世界がまだ残されていることを近代化した都市に住む人々に示すメッセージとして、今もなお強い印象を与えています。

本公演では、遠野の物語の数々を文楽の太夫・竹本千歳太夫と竹本碩太夫が語ります。そして、語りから浮かび上がる百年前の遠野の光景と、映像による現在の遠野の風景により、遠野の過去と現在が舞台の上で交錯します。文楽の人形遣い・吉田簀紫郎、吉田簀太郎、桐竹勘吉が三人一組でカッパをはじめとした『遠野物語』に登場する人物やキャラクターの人形を遣い、物語に更なる説得力を与えます。また、柳田が序文に獅子踊（鹿踊）の風景を描いているように『遠野物語』には遠野の芸能も登場しますが、山の神と権現様には平倉神楽保存会、獅子踊には遠野郷板澤しし踊り保存会がそれぞれ出演し、舞台を盛り上げます。

語り、映像、文楽人形、民俗芸能が織りなす『遠野物語』の世界にご期待ください。



桐竹 勘吉



吉田 簀太郎



吉田 簀紫郎

〈文楽人形〉



竹本 碩太夫



竹本 千歳太夫

〈語り〉

〈神楽〉 平倉神楽保存会（岩手県遠野市）



〈獅子〉 遠野郷板澤しし踊り保存会（岩手県遠野市）



【出演者・出演団体紹介】

竹本千歳太夫は、文楽の物語の重要な場面を語ることが許された最高位の太夫「切語り」で、円熟の芸と風格、そして全身全霊を込めた語りで多くの観客を魅了しています。令和六年紫綬褒章受章。竹本碩太夫は竹本千歳太夫に入門し、若手の太夫として注目されている一人です。

吉田簀紫郎は可憐な女性の人形から勇壮な男性の人形の役までをこなす期待の人形遣いで、アジア各国で文楽を紹介する活動も行っています。一体の人形を三人で遣う文楽人形の中心となる「主遣い」（かしらと右手を担当）を本公演ではつとめます。吉田簀太郎は次代を担う人形遣いの一人で活躍の場を広げています。本公演では人形の左手を操る「左遣い」をつとめます。桐竹勘吉は昨年四月に初舞台を踏んだ新進鋭の人形遣いです。本公演では人形の足を操る「足遣い」をつとめます。

平倉神楽保存会は、戦後に中断した神楽を花巻市・石鳩岡神楽の伝授により復活させました。無病息災などを祈る権現舞や優雅で切れの良い演目があり、確かな舞に定評があります。遠野郷板澤しし踊り保存会は、勇壮な舞に加え、場を清めるほめ歌も伝承しています。祭りでの奉納などを通じて遠野のシンオドリを次代へ継承する活動を行っています。

令和8年 3月8日（日）開演13時（開場12時30分）

遠野市民センター大ホール

遠野市民センター自主事業

主催＝独立行政法人日本芸術文化振興会、文化庁、遠野市、遠野市教育委員会

後援＝遠野市芸術文化協会

主管・お問合せ＝一般財団法人遠野市教育文化振興財団

TEL 0198-62-6191

全席指定 一般 4,000円 高校生以下 2,000円（当日各500円増）

●チケット発売開始 令和8年1月15日（木）午前10時

●プレイガイド：遠野市民センター、とびあ、みやもりホール、（一財）遠野市教育文化振興財団
チケットぴあ（Pコード：539-390）

〔電話予約〕（一財）遠野市教育文化振興財団

0198-62-6191（平日午前10時～午後5時）

Narrating the Legends of Tono -The World of Tono Interwoven with Storytelling,
Performing Arts, and Video-in Tono Civic Center Large Hall
March 8 (Sun.), 2026, 1:00 p.m. – 3:30 p.m.
Booking opens on January 15 (Thu.), 2026
Phone number for ticket reservations:
0198-62-6191 (10:00 a.m. – 5:00 p.m. on weekdays)



国立劇場